その他（４）

新設校等のスクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて

このことについて、別紙のとおり報告する。

令和８年10月23日
新潟県教育委員会教育長
太田　勇二

国際フロンティア高等学校　全日制課程・グローバル探究科

スクール・ミッション（社会的役割等）

【世界水準の学びをとおして、より良い未来を切り拓くグローバル人材を育てる学校】
“Through world-class learning, our school empowers globally minded learners to explore new frontiers, be ready for the world, and create a better future.”
・ケンブリッジ国際教育プログラムをとおして「世界のどこでも通用する力」を育成する。
・全国から多様な生徒が集まる学校として、それぞれの違いを尊重しながら協働することで視野を広げ、より良い未来を切り拓く力を持った生徒を育成する。
・自己実現を追求し、社会に前向きな変化をもたらそうとする姿勢を育み、地域社会、日本、そして世界で活躍できるグローバル人材を育成する。

スクール・ポリシー（三つの方針）

★グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までに、このような力を身につけます～

①未知に挑む力（Explore new frontiers）
　正解のない課題に対して、データやテクノロジーを活用して仮説と検証を繰り返しながら、解決に向けて主体的に取り組む力を育みます。
②世界で語り合う力（Be ready for the world）
　日本語と英語で専門的な知識を深く理解し、確かな根拠（エビデンス）に基づいて自らの考えを組み立て、英語で発信するとともに熱量を持って対話する力を育みます。
③未来をともに創る力（Create a better future）
　文理の枠を超えた教養と科学的思考力を持ち、多様な文化や価値観を尊重しながら、世界中の英知を結集させ、より良い未来を創造する力を育みます。

★カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～これらの力を育てるため、このような教育を行います～

①データと科学の力で挑む、深くて広い探究学習
　進路や関心に応じて選べる学習パスを設け、地域社会や企業、国際大学と連携した文理融合の探究学習に取り組みます。データ分析や科学的な手法を柱に、悩みや失敗も含めた「試行錯誤のプロセス」を大切にします。
②世界水準の教育プログラムと、英語「で」探究する授業
　ケンブリッジ国際教育プログラムと、日本の学習指導要領に基づく教育を組み合わせた教育課程を編成します。最先端の技術を、思考を広げる「道具」とし、少人数の対話型授業で根拠を示して議論・文章化する力を英語「で」磨きます。
③世界とつながり、ともに未来を拓く学び
　全国・世界から集まる仲間との日常的な学び合いや、国際大学・地域の人々との交流、海外研修などの「リアルな体験」の機会を設けます。多様な価値観を尊重し、心を通わせる人間関係を築くことができるような体験活動を実施します。

★アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

～このような生徒を求めています～

①「世界のどこでも通用する力」を身に付け、身近な社会から世界まで、より良い変化をもたらそうとする意欲のある生徒
②英語「を」学ぶだけでなく、英語「で」学び、自分の考えを世界に発信する意欲のある生徒
③新しい環境の中で、多様な価値観や考えを持つ人々との出会いをとおして視野を広げ、自らを高める意欲のある生徒